

(様式1)

校 種	① ・ 中	学校番号	2 0	学校名	宇都宮市立明保小学校
-----	-------	------	-----	-----	------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

心身ともに健康でたくましく、確かな学力と豊かな人間性をもち、ともに支え合いながら変化する社会を主体的に生き抜く児童の育成。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・ 健康でたくましい子
- ・ 進んで考え 最後までやりぬく子
- ・ 思いやりがあり 誰とでも仲良くする子
- ・ ふるさとの人や自然を大切にする子

《合い言葉：元気・やる気・勇気・思いやり》

2 学校経営の理念

「信頼と活力ある学校づくり」

- (1) 人間尊重を基盤として、児童・保護者・地域との信頼関係を築く学校づくり
- (2) 教職員としての使命感とチーム力を高め、創意・工夫を生かす学校づくり
- (3) 知・徳・体の調和のとれた発達と協働する力を育む学校づくり
- (4) 学校・家庭・地域の教育力を生かし合う地域とともにある学校づくり
- (5) 安全管理や危機管理への徹底を図り、安心して生活できる学校づくり

3 学校経営の方針

「第2次宇都宮市学校教育推進計画」「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」「令和4年度指導の重点」を踏まえるとともに、地域学校園における9年間の成長を見据えた特色ある教育課程の編成・実施・改善に努める。

※ (A@) は、うつのみや学校マネジメント、㊦は、「学校教育スタンダード20の取組」との関連

(1) 確かな学力を育成するために、基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等を育む学習指導の充実に努める。①

- ・学力調査の有効活用:学校や個々の実態把握と改善策の実施・検証
- ・基本的な学習態度の育成:明保小学習スタンダードの見直し、「聞く・話す」の基本指導(A1)
- ・基礎・基本の徹底:習熟度別学習等の効果的な実施,漢字・計算SU,「家庭学習強化週間」「まとめの学習月間」の設定,一人一台端末の日常活用, AI 型学習ドリルの活用(A18, B3)
- ・主体的・対話的で深い学びの授業改善:『宇都宮モデル』(はっきり・じっくり・すっきり)の活用(A1)
- ・多面的・多角的に考え,深める道德教育の推進②(B1)
- ・英語教育・外国語活動,宇都宮学の充実⑤(A8, A9)
- ・情報活用能力の育成:教材やICTの効果的な活用,プログラミング教育の実施⑥(A10)

(2) 豊かな人間性を育むために「宮っ子心の教育」を推進し,認め励ます教育や多様な体験活動の充実に努める。②

- ・道德科の授業の充実:「多面的・多角的に考え,深める道德」の研究,地域教材の活用(A2)
- ・基本的な生活習慣の確立:明保小のよい子の徹底(あいさつ,名札,靴揃え,)(A3, A4)
- ・自己肯定感や規範意識,思いやり等の育成:一人一人のよさを認め励ます教育の充実(宮っ子心

の教育表彰), 児童同士が認め合い高め合う学級集団の育成(A2, A5, A17)

・多様な体験活動の充実: 高齢者とのふれ合い学習, フラワーロード集会, 縦割り班活動, 学校支援ボランティアや企業との連携, 芸術・文化, 自然体験 等(A2, A11)

・読書活動の充実: 図書ボランティアによる読み聞かせ, 朝読書, 朝の図書室開館(A10, B2)

(3) 健康で安全な生活を送る力を育むために, 体力向上や保健教育, 食育教育, 安全教育に関する指導の充実を図る。③ (A6)

・健康の保持増進: 定期健康診断の有効活用, 日常の保健指導の徹底(検温, 体調チェック, 歯磨き, 手洗い・うがい), 養護教諭や校医と連携した保健指導(性教育, 飲酒, 喫煙, 薬物乱用防止)

・体力向上の取組: 元気っ子健康体力チェック, サーキットトレーニング(投力育成), 各種検定, 「うつのみや版ミニマム」への取組, 運動量の確保とICTの有効活用, (A6)

・望ましい食習慣の形成: 正しい食習慣やマナーの徹底, 食への関心(地産地消, 給食週間, 行事食や郷土料理, マナー習慣等)食物アレルギーへの対応, 弁当の日, 学校栄養職員との授業実践食に対する感謝の念の育成

・安全教育の充実: 登下校の安全指導, 避難訓練や交通安全・防犯教室, 家庭地域との連携(ボランティア団体やPTAの見守り, 子ども110番の家, 環境点検, 安全会議)地域安全マップ作成

(4) 地域や社会の一員として, 主体的・協働的な課題解決力や社会への参画力の向上を図るとともに, 情報化社会で生きる資質・能力の育成を図る。④ (A7)

・特別活動の充実: 係, 委員会・クラブ活動, 児童会活動での主体的な取組(A17)

・地域への愛着: 宇都宮学, 道德科地域教材の活用, 地域行事への理解と参加⑤(A9)

・「宮・未来キャリア教育」の充実: 「宮未来キャリアパスポート」の活用, キャリア発達を促す教育(A23)

・「持続可能な社会」の担い手を育む教育: 総合的な学習の時間の充実(環境・国際・地域)⑧(A12)

・情報活用能力の育成: GIGA スクール構想の実現を目指し, 協働学習ツール等の積極的な活用

学校図書館のセンター機能の充実⑩(A10, A25)

(5) 多様な児童への理解と教育的ニーズへの適切な対応を図るために, 児童指導や特別支援教育の充実を図る。(A13)

・児童指導の充実: 多角的な児童理解, 教育相談やQ-U調査の実施活用, SCの活用⑫

・いじめや不登校等への対応: アンケートの実施活用, 未然防止・早期発見と組織的な対応, 保護者や関係機関との連携, 別室登校支援や1人1台端末を積極的に活用した学習支援⑩(A14, A15)

・特別支援教育の推進: 児童の特性についての理解促進, 適切な支援の充実(かがやきルーム指導の充実, 個別指導計画, 教育支援計画の作成・評価, 適切な交流授業の実施), 特別支援教育Cを核とした組織体制の充実(ケース会議の充実, 担任と支援者との情報共有, 関係機関との連携)⑨

・外国人児童等への対応: 日本語指導と学校生活適応への支援⑪,

・性的少数者への対応: 正しい理解と相談体制の整備⑫(A16)

(6) 信頼される教職員として資質・能力の向上を図るとともに, 働き方改革を通して業務の効率化を図り, 学校としてのチーム力を高める。⑭

・多様な専門スタッフとの連携: 学校図書館司書, 学校栄養職員, かがやきルーム指導員, SC 等との連携(A19)

・現職教育の充実: 適切な計画と実施, 「考え, 議論する道徳」の研究と授業実践⑬(A18)

- ・マネジメント機能の確立:学校経営計画や行動規準表を活用した PDCA サイクルの確立
- ・服務規律の徹底:日頃の言動の振り返り, 服務規律強化旬間の徹底, 研修の実施, マネジメントアンケート(保護者用)での評価
- ・働き方改革:校内業務の適正化(明確化, 効率化, 簡略化), 勤務時間への意識高揚⑮(A20)
- ・効果的な予算執行と適切な事務処理

(7) 地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開するとともに, 地域協議会と連携し, 学校経営の改善に努める。⑯ (A22)

- ・地域の教育資源等の有効活用:教育課程と関連した効果的な実施と検証
- ・情報発信:教育目標や教育活動等の積極的な発信(学校だよりや HP, 授業参観等)
- ・地域協議会との連携:各部会での活動充実, 学校経営に関する協議の活性化

(8) 安全で安心して学校生活を送ることができるように, 安全管理体制や危機管理体制を確立し, 事故防止に努める。⑰ (A24)

- ・安全点検の実施・事後確認, 環境整備, 備品管理・整理
- ・校内体制の確立と危機管理対応に関する研修
- ・見守りボランティアや子ども110番の家との連携

【宮の原地域学校園教育ビジョン】

心豊かで輝く子どもの育成 ～ほめて伸ばす(自己肯定感を高める)～

【重点課題】

- ★基礎的・基本的な学力を身に付けさせる。(自ら学ぶ児童・生徒の育成)【学力向上部会】
- ★思いやりを高め規範意識の向上を図る。【学校生活適応支援部会】
- ★継続した筋力向上をめざし, 健康で安全な生活を営ませる。【健康・体力・食育促進部会】
- ★小中および地域の交流促進を目指し, 情報共有化を図る。【交流連携促進部会】
- ★学校事務の効率化・平準化を図り, 学校づくりを支援する。【地域学校園事務室部会】

4 教育課程編成の方針

- ・創立 149 年の歴史と伝統を踏まえ, 学校・地域・児童の実態を適切に把握し, 特色ある教育課程を編成する。
- ・全職員協力の下, 学校経営計画に示された具体策や特色ある学校づくりに関する取組のために必要な教育の内容等を教科横断的な視点で組み立てていく。
- ・学校教育活動全体を通した組織的な PDCA サイクルの活性化により教育課程の実施状況进行评估し, 必要な人的・物的な体制を確保するとともにその改善を図っていく。
- ・教育活動実施時数は, 宇都宮市小中一貫カリキュラムを基準として編成し, 1 年生は安全上 2 年生と同様に, 予備時数は基礎的・基本的内容の徹底(国・算)を中心に計画的に運用する。

5 今年度の重点目標(「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

(1) 学校運営

- ・信頼される教職員集団を築き, 地域とともに主体的協働的な学びを推進する教育活動の推進
- ・校内業務の適正化と教職員の健康安全を考えた働き方改革の推進

(2) 学習指導

- ・自己を見つめ, 豊かな心でよりよく生きる児童の育成

(3) 児童指導

- ・基本的な生活習慣の確立と自他を尊重する態度の育成
～自己肯定感を高め, 「当たり前」を重視した実践～

(4) 健康(体力・保健・食育・安全)(元気アップ教育に係る取組を含む)

- ・健康の保持増進や体力づくりに励み、たくましく生きる児童の育成

6 学習指導, 児童生徒指導, 健康(体力・保健・食・安全)に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組⑦

(1) 育てたい資質・能力:「学び合い」と「ふれあい」を通して、生きる力を育む。

- ・自他の考えをもとに主体的に学び合う力
- ・違いを認め、ともに喜び合い、助け合い、励まし合う態度
- ・ふるさとへの愛着, 誇り, 感謝の心
- ・自分のめあてに向かって最後まで頑張り通す力

(2) 具体的取組(提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇)

◇国語科, 道徳科を中心とした言語活動の充実

◇校内授業研究会の実施(学年チームを基盤とした一人一授業の実践)⑬(B1)

◇地域と連携したふれあい活動の実践(A2, A7, A23)

- ・各学年と高齢者とのふれあい授業(昔遊び, グランドゴルフ, 輪投げ, 鉛筆削り, 雑巾縫い等)⑦(A11)
- ・学校支援ボランティアの充実と組織的対応(家庭科, スタートカリキュラム, 読み聞かせ等)⑱(A22)
- ・PTA・地域協議会と共催したフラワーロード集会, あじさい剪定⑱(A22)

◇異学年・縦割り班活動による体験: 縦割り班遊び・なわとび集会・ありがとう集会・清掃(A2)

◇年間を通してサーキットトレーニングへの取組(走力・投力の向上)(A5)

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり(「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」)

① 基本的考え

- ・教育目標等を保護者・地域と共有し, 地域とともにある学校を目指すために, 地域の教育資源を活用した教育活動の充実に努め, 学校評価を適切に実施・公表し, 教育活動の改善に生かしていく。

② 主な取組

- ・PTA・地域協議会と連携したフラワーロード集会, アジサイの剪定, 学校支援ボランティア活動, 高齢者とのふれあい活動

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

- ・小・中学校9年間で踏まえた学びの充実を図るために, 地域学校園の教育ビジョンを踏まえて, 系統的な学習指導の視点で必要な取組を検討し, 小中学校における共通実践を推進する。

② 主な取組

- ・情報共有, あいさつ運動, いじめゼロ運動, 6年生中学校訪問, 保護者への情報発信(A21)

(3) 不登校対策

① 基本的考え

- ・すべての子供にとって居がいいのある, 温かい雰囲気 of 学級づくりのために, 市教育センター作成の「不登校対策の手引書」の取組を着実に実施し, 早期発見と組織的な対応に努める。

② 主な取組

- ・一人一人のよさを認め励ます教育, 児童を温かい雰囲気を受け入れ, 信頼関係の構築
自己の存在意識を実感することができる学級経営の充実
- ・アンケート, Q-U 検査, 教育相談, 欠席情報共有シートの活用, SC, 関係機関との連携
- ・個に応じた多様で適切な教育機会の確保(別室登校支援や 1 人 1 台端末の活用)

(4) GIGA スクール構想

①基本的考え

- ・GIGA スクール構想の実現を目指し, 協働学習ツール等の積極的な活用により, 教科の学びを深めることができるよう指導するとともに, 授業外においても 1 人 1 台端末を有効に活用するなど, 取組を着実に推進する。

②主な取組

- ・「情報モラル教育年間指導計画」に基づき, ネットトラブルや, ネット依存等の防止を含むデジタル・シティズンシップを育成
- ・教科や学習内容により, AI 型学習ドリル等を計画的・効果的に活用

(5) 宇都宮学

①基本的考え

- ・各学年の発達段階に応じた「宇都宮学」に取り組み, 児童が郷土への愛情と誇りを持てるようにする指導の充実を図る。

②主な取組

- ・「道徳科地域教材」を用いた授業を通して, 地域の教育資源や資料等の活用
- ・伝統を継承する人の生き方に触れる体験的な活動の推進
- ・教科横断的な郷土の歴史, 文化, 伝統, 産業, 風土についての学習